

1 / 2

[illegible]

ていんさぐぬ花

本調子

2/2

一、ていんさぐぬ花や 爪先くちみさち
ゝに染くすゝみてい
親くうやゝのゆしぐとうや
肝くちむゝに染くすゝみり

二、天くていんゝぬ群星くむりぶしゝや
読くゆゝみば読くゆゝまりしが
親くうやゝぬ寄師事くゆしぐとうゝ
や
読くゆゝみやならん

三、夜走くゆるはゝらす船くふにゝや
子くにゝぬ方星くふあぶしゝ目当く
みあゝてい
我くわゝん産くなゝちえる親くうや
ゝや
我くわゝんどう目当くみあゝてい

四、宝玉くたからだまゝやていん
磨くみがゝかにば錆くさびゝす
朝夕肝磨くあさゆうちむみがゝち
浮世渡くうちゆわたゝら

五、誠くまくとうゝする人や
後くあとうゝや何時迄くいちまでい
ゝん
思事くうむくとうゝん叶くかなゝて
い
千代くちゆゝぬ栄くさかゝい

六、なしば何事くなんぐとうゝん
なゆる事くくとうゝやしが
なさぬ故くゆいゝからどう
ならぬ定くさだゝみ